



2022年10月17日(月)

第62期（2023年3月期） 第2四半期決算説明会

(2022年4月1日～2022年9月30日)

代表取締役社長
取締役

最高経営責任者（CEO）
管理本部長

保木 潤一
川久保 秀樹

HOGY MEDICAL Co., Ltd.



この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。



業績の概要

第62期（2023年3月期）第2四半期 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.9 61期2Q実績		22.9 62期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	17,928		19,201		1,273	107.1%
営業利益	2,987	16.7%	3,185	16.6%	197	106.6%
経常利益	3,067	17.1%	3,162	16.5%	95	103.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,234	12.5%	2,232	11.6%	△1	99.9%
E P S	75.83円		92.05円			

増収減益

売上高

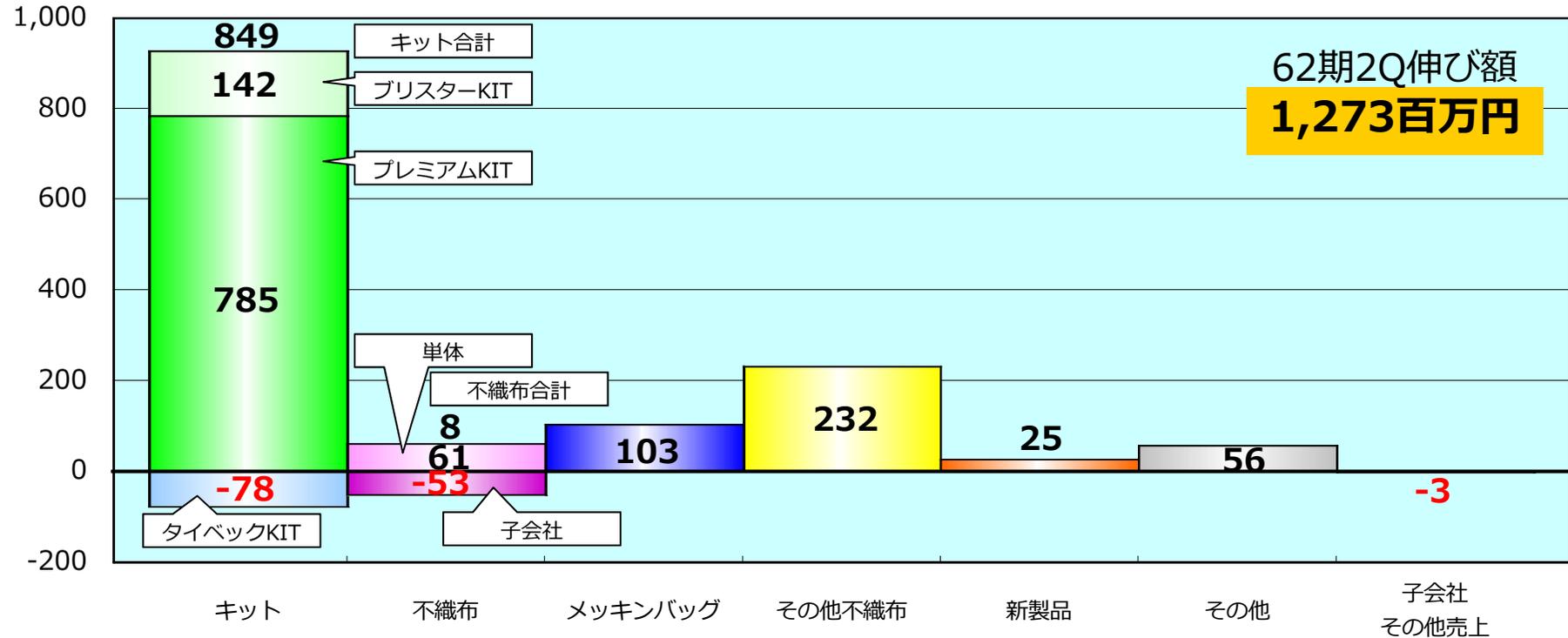
- ：プレミアム、プリスターキットの販売は好調
- ：前年度の新型コロナ等による売上減少の反動増加
- ：その他不織布はN95等の高機能マスクが特需

営業利益

- 原価：59.8%(前年比+2.1pt)
- ：円安の影響により原価上昇(+3.5億)
- ：原材料費・光熱費等のコスト上昇(+2.2億)
- ：一過性要因(棚卸資産除却・子会社の会計処理の変更)(+2.0億)
- ：償却費の減少(△1.4億)
- 販売管理費：△64百万円(1.4%減)
- ：償却費、試験研究費の減少

第62期（2023年3月期）第2四半期 主な製品の売上高伸び額

(単位：百万円、端数：切捨て)

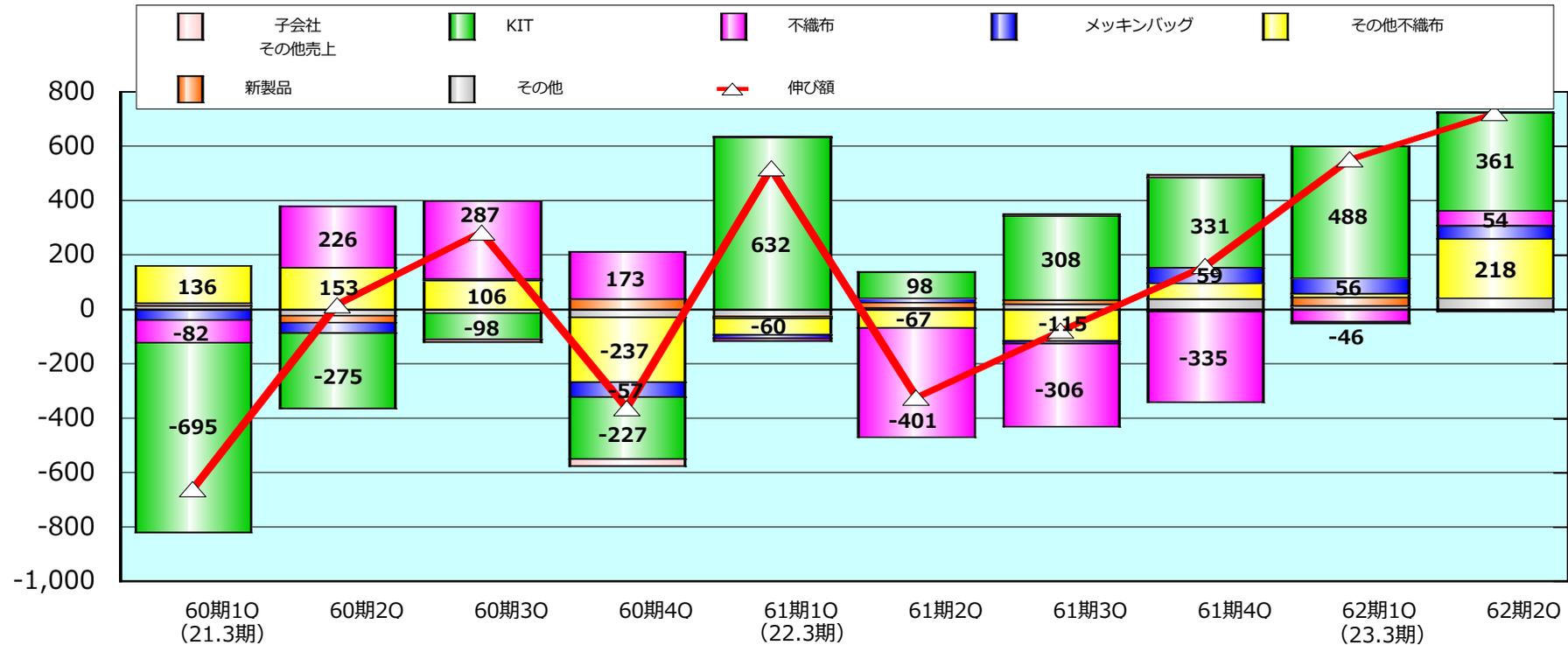


- ・ **プレミアムキットは販売に注力した結果、新規獲得により前年比21.9%増加**
- ・ 前期の新型コロナによる売上減少の反動により、当期はKIT製品が反動増加（一部施設では新型コロナが発生すると手術件数が減少(延期)）
- ・ タイベックキットのマイナスはプレミアムキットへの置換
- ・ その他不織布は新型コロナ第7波時に特需が発生

* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「プリスターキット」の合算を記載しております

第62期（2023年3月期）第2四半期 四半期別売上高伸び額の内訳

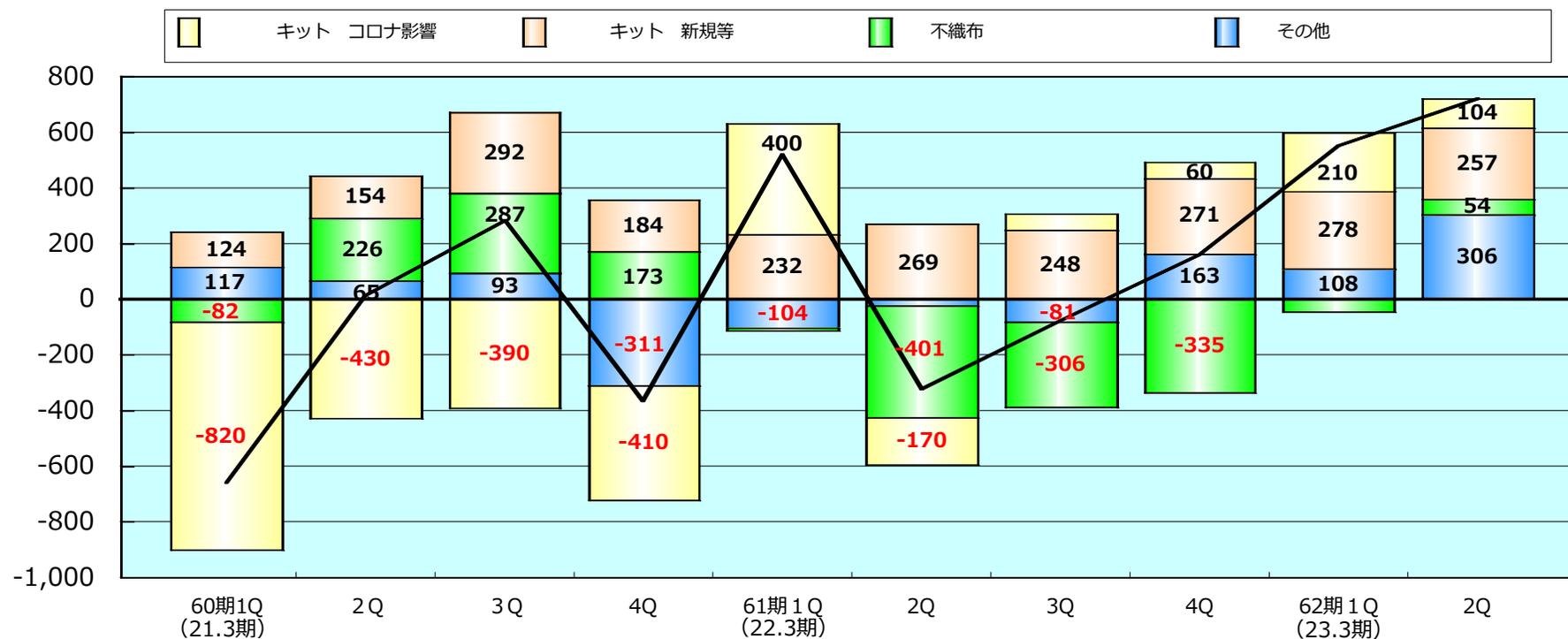
(単位：百万円、端数：切捨て)



- ・第2四半期では全製品が前年比プラスとなる
- ・キット製品はプレミアムキットを中心とした新規獲得により増収
- ・新型コロナ第7波による影響でN95等の高機能マスクの使用が増加（その他不織布）

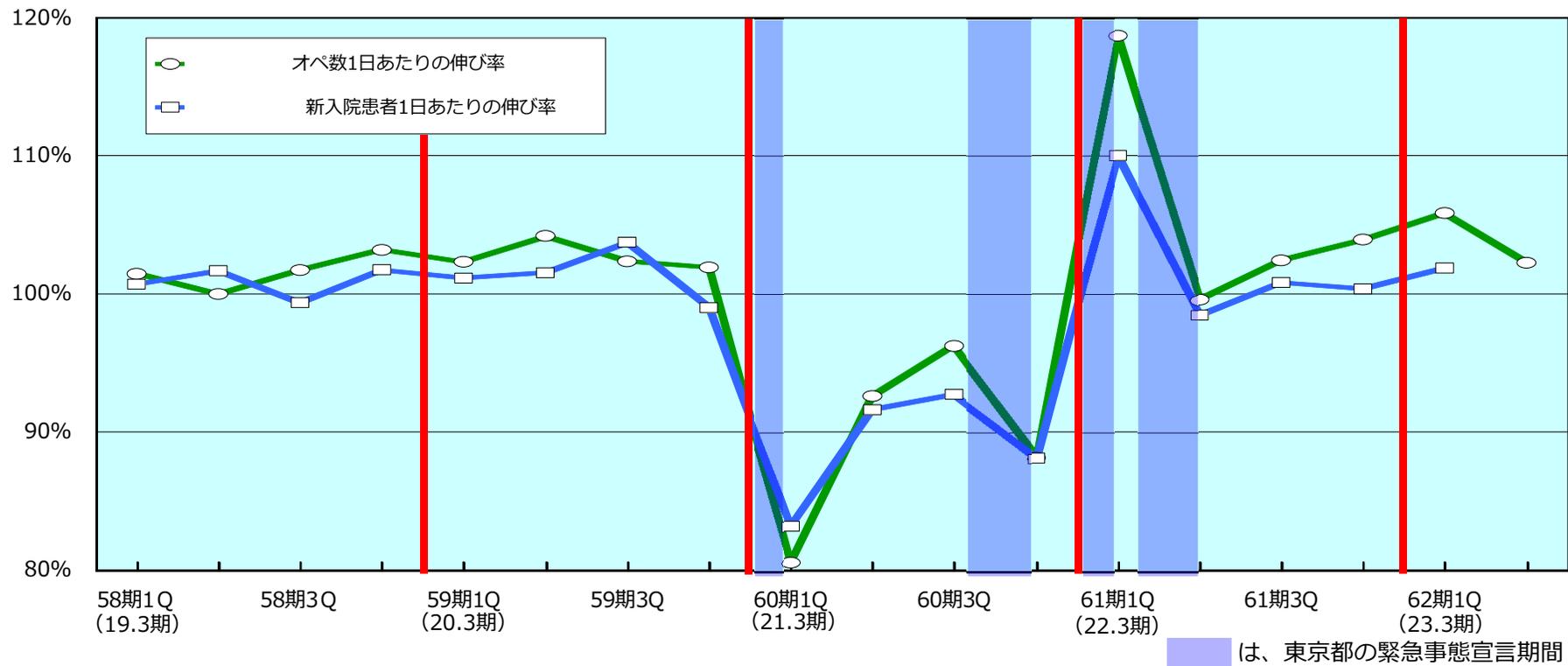
四半期別 伸びの内訳

(単位：百万円、端数：切捨て)



	60期1Q	2Q	3Q	4Q	61期1Q	2Q	3Q	4Q	62期1Q	2Q
KIT コロナ影響等	-820	-430	-390	-410	400	-170	60	60	210	104
KIT 新規等	124	154	292	184	232	269	248	271	278	257
KIT 合計	-696	-276	-98	-227	632	99	308	331	488	361
不織布	-82	226	287	173	-9	-401	-306	-335	-46	54
その他	117	65	93	-311	-104	-23	-81	163	108	306
総額	-661	15	282	-365	519	-325	-79	159	551	721

オペラマスター病院 手術件数の伸び率と 新入院患者の伸び率/日



- ・手術件数は回復傾向にあるが、第2四半期では新型コロナ第7波の影響がみられる
- ・医療機関によって手術件数の回復傾向に差があり2極化が進む



■ 市場環境

- ✓ 医療従事者の離職率の増加
- ✓ 医療従事者の働き方改革に対する議論の再燃
- ✓ コロナ禍において手術件数を増加させ経営改善に取り組む医療機関との2極化が進む
- ✓ 医療機関での**機能分化が促進**
- ✓ 手術件数はコロナ前水準まで回復

■ 決算のポイント

- ✓ 新規獲得によりプレミアムキットの売上高増加（前年比21.9%増）
- ✓ 新型コロナの落ち着きによりその他不織布（マスク、キャップ製品）は売上高減少を見込んでいたが、第7波による影響でN95等の高機能マスクの使用が増加
- ✓ 値上げアナウンスの実施
- ✓ 円安の影響により第2四半期より原価が上昇（為替予約による効果で第1四半期は軽微）
- ✓ 一過性要因（棚卸資産除却・子会社の会計処理の変更）による原価増加
- ✓ 原材料、運搬費、光熱費の上昇
- ✓ 7月取得予定であった新工場の一部稼働は、工事遅れにより遅延



第62期（2023年3月期）経営計画

第62期（2023年3月期） 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,720		1,941	105.3%
営業利益	6,135	16.7%	6,510	16.8%	374	106.1%
経常利益	6,285	17.1%	6,570	17.0%	284	104.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,370	11.9%	4,570	11.8%	199	104.6%
EPS	153.00円		188.40円			

■増収増益計画

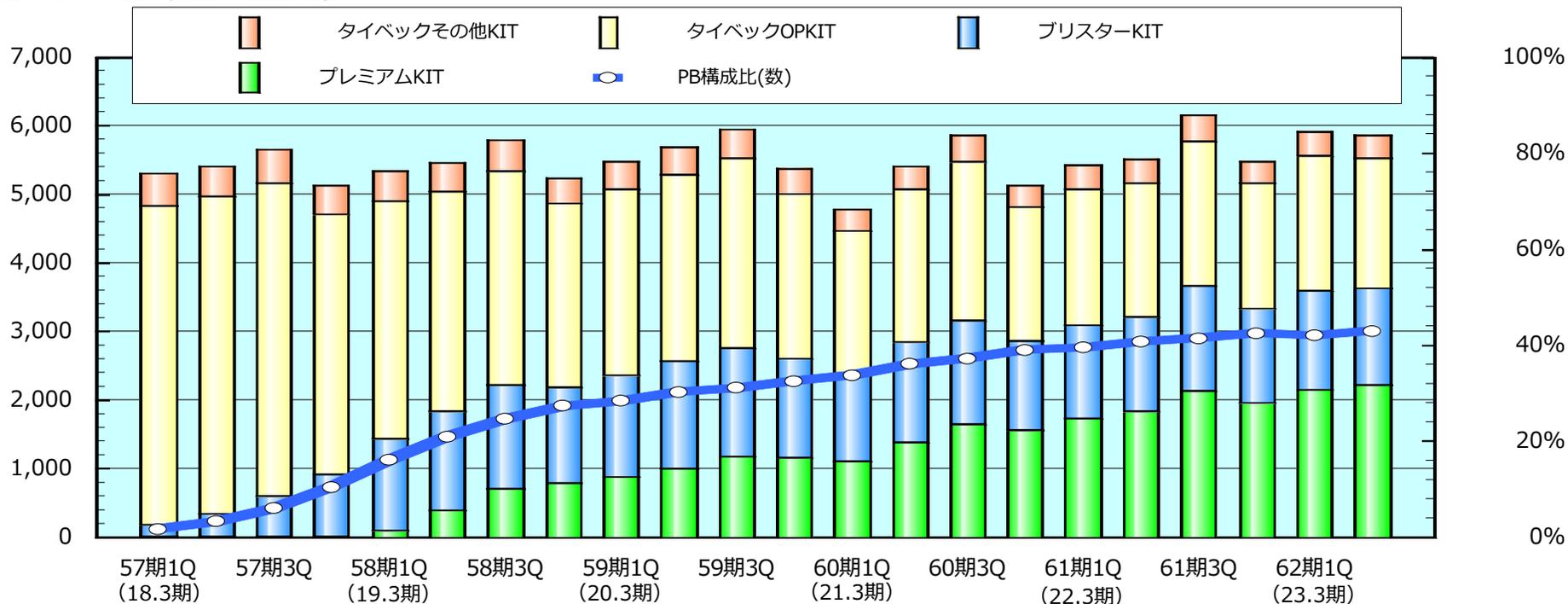
- 売上高：プレミアムキット新規獲得、その他製品の特需等により増収
- 原価：急激な円安、原材料・資材価格・光熱費・輸送費の高騰により原価率上昇
：新工場2期設備を7月より一部稼働開始を想定していたが、社内調整の遅れにより来期稼働へ
：一部製品の値上げを10月より実施、今後も低利益製品を中心に実施
- 販売管理費：営業活動促進に関わる費用に集中



実績の詳細

キット製品 売上高推移

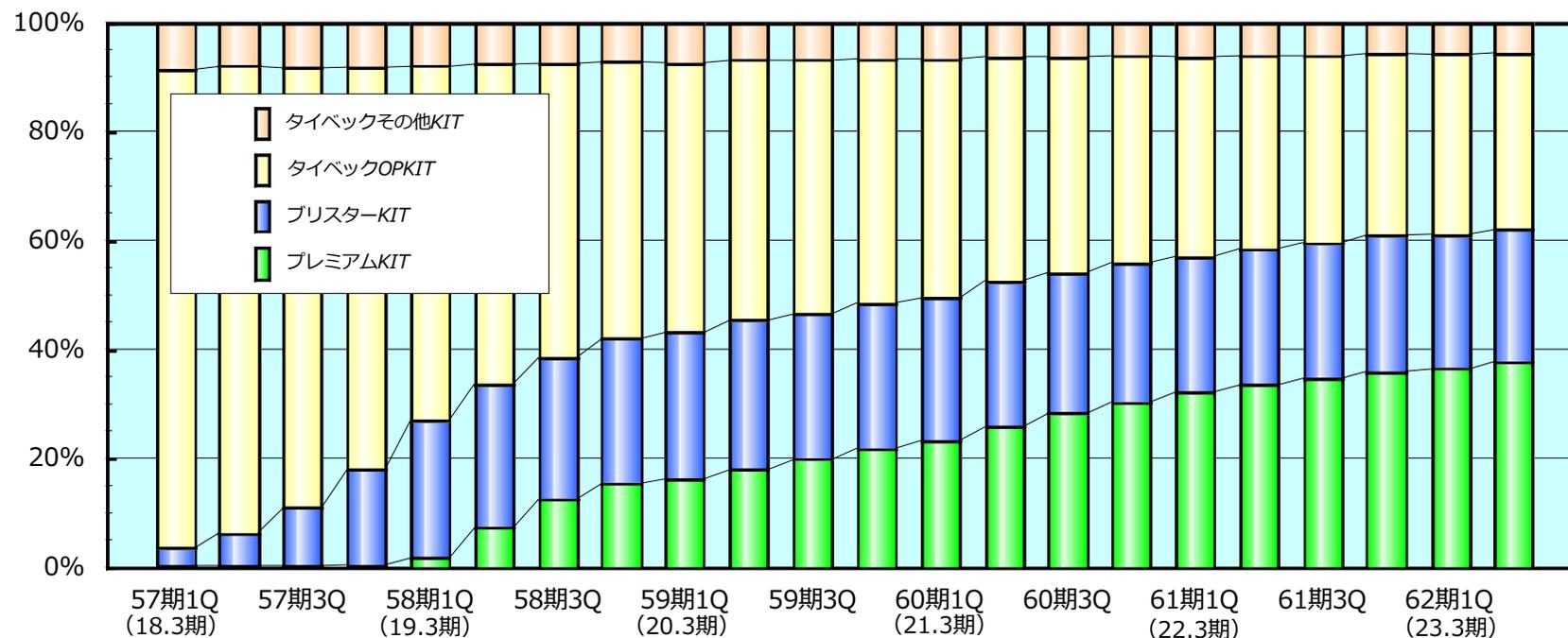
(単位：百万円、端数：切捨て)



* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「ブリストアキット」の合算を記載しております

- ・プレミアムキットの販売に注力した結果、プレミアムキットとブリストアキット合計の数量構成比は4割を超過
- ・62期第2四半期 前年同期比
 - ✓ プレミアム、ブリストア：+416百万円、112.9%
 - ✓ タイバックキット：△55百万円、97.6%

キット製品 販売構成比 推移



* 弊社短信での「プレミアムキット」の販売額は「プレミアムキット」「ブリスターキット」の合算を記載しております

- ・タイベックOPキットの割合が減少し、プレミアムキットとブリスターキットの売上高が伸長し割合が増加

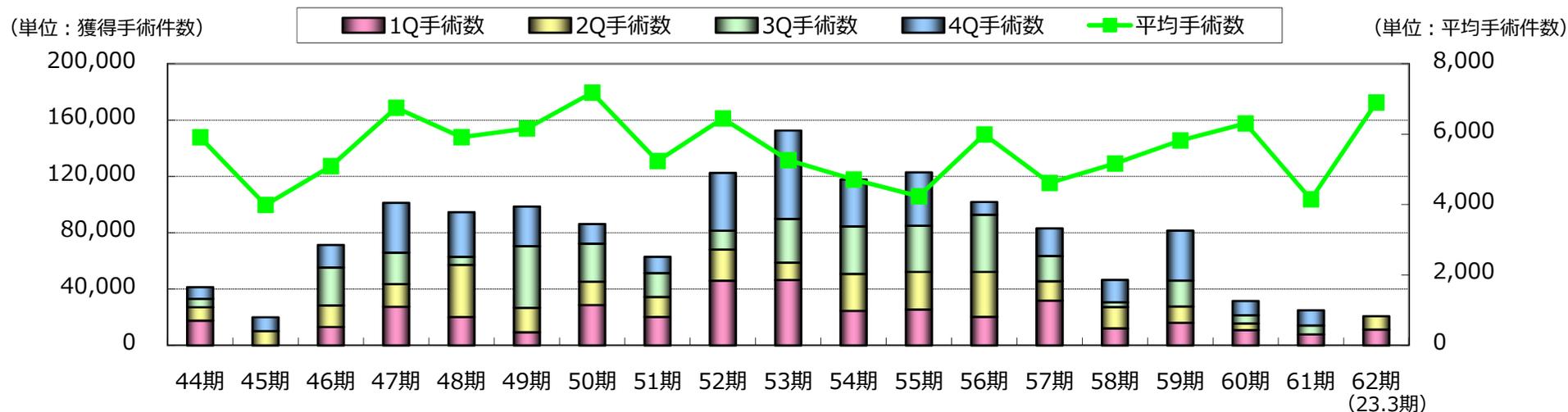
オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高 : 7,882百万円 (前年比 574百万円 : 107.9%)

62期契約施設数 : 新規 3施設

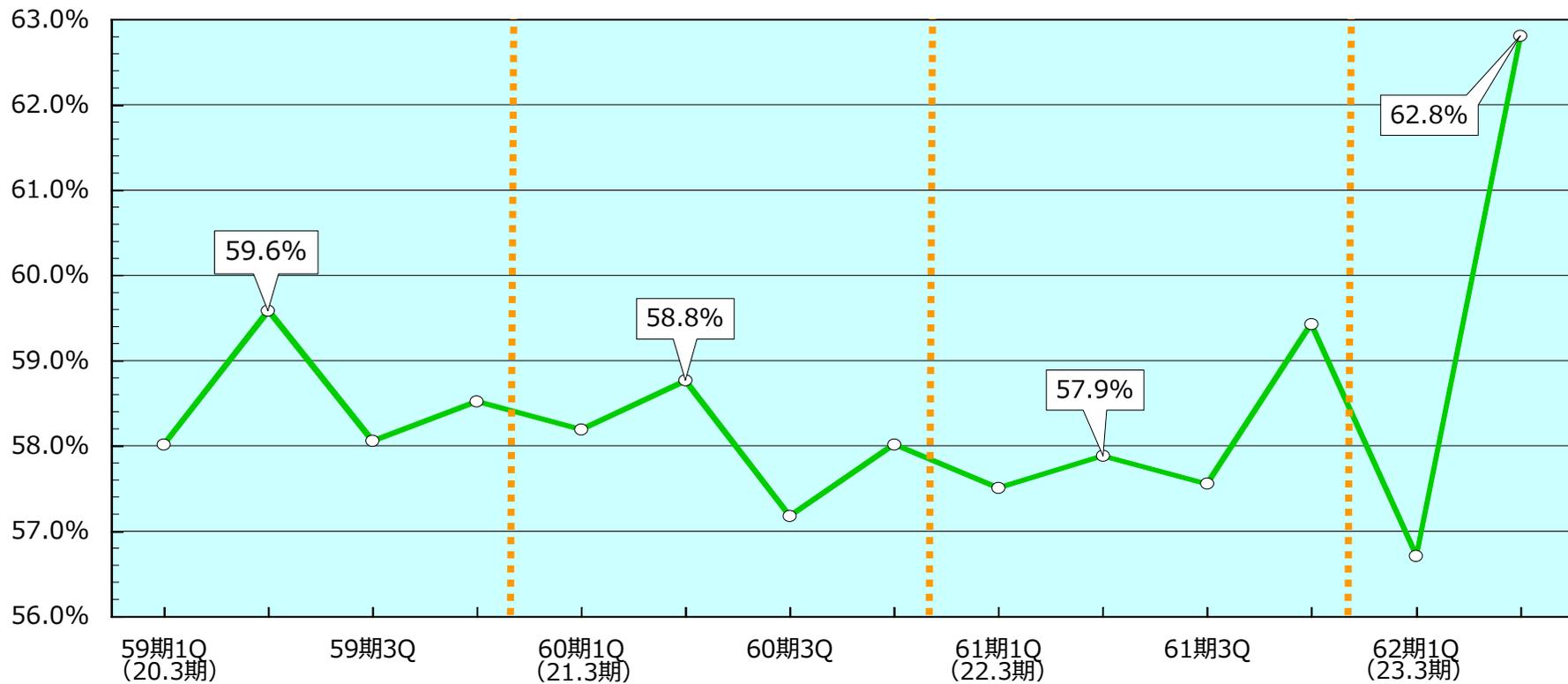
累計契約施設数 : 271施設

オペラ契約期別 獲得手術数&平均手術数



- ・ 62期新規契約病院3件 (DPC特定病院群 (旧Ⅱ群) : 3件)
- ・ 62期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は6,900件
- ・ オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力

原価率推移



- ・円安の影響により第2四半期より原価が上昇（為替予約による効果で第1四半期は軽微）
- ・在庫製品の評価影響（第1四半期）
- ・一過性要因（棚卸資産除却・子会社の会計処理の変更）（第2四半期発生）
- ・新工場償却費の減少
 第2四半期累計の償却合計：1,837百万円（前年比：201百万円減）
 - ・原価：1,492百万円（前年比：141百万円減）
 - ・販管費：344百万円（前年比：60百万円減）

第62期（2023年3月期）第2四半期 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	21.9 61期2Q実績		22.9 62期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	17,928		19,201		1,273	107.1%
売上原価	10,344	57.7%	11,483	59.8%	1,139	111.0%
売上総利益	7,583	42.3%	7,717	40.2%	133	101.8%
販売費及び一般管理費	4,596	25.6%	4,532	23.6%	△64	98.6%
営業利益	2,987	16.7%	3,185	16.6%	197	106.6%
営業外損益	79		△22		△101	
経常利益	3,067	17.1%	3,162	16.5%	95	103.1%
特別損益	△1		△0		1	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,234	12.5%	2,232	11.6%	△1	99.9%
E P S	75.83円		92.05円			

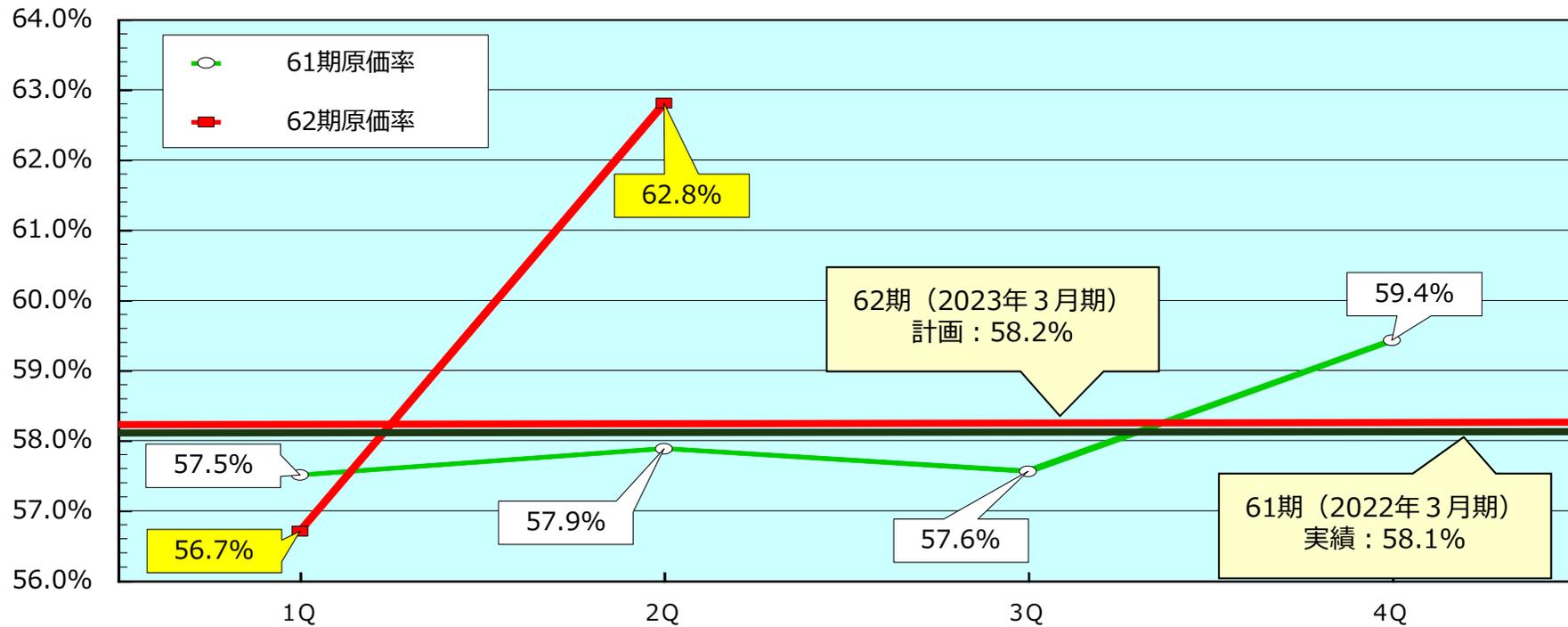
主な増減科目	前年比
荷造運搬費	36
旅費交通費	18
減価償却費	△60
試験研究費	△43

- ・販売管理費：4,532百万円(△64万円)
 - ✓ 試験研究費：費用計上タイミングの影響
 - ✓ 荷造運搬費：売上増加および燃油サーチャージにより増加
 - ✓ 旅費交通費：営業活動増加の影響
- ・設備投資：894百万円



第62期（2023年3月期）経営計画

第62期（2023年3月期） 損益計算書



- ・円安により原価上昇（コーポレートレート：120円設定）
- ・償却合計：4,449百万円（前年比：334百万円増）
 - ・原価：3,590百万円（前年比：281百万円増）（*新工場稼働で6億円の増加込み）
 - ・販管費：859百万円（前年比：53百万円増）
- ・資材、光熱費、運搬費の上昇
- ・一部製品の値上げ実施

第62期（2023年3月期） 損益計算書



単位：百万円 端数：切捨て	22.3 61期実績		23.3 62期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,778		38,720		1,941	105.3%
売上原価	21,361	58.1%	22,540	58.2%	1,178	105.5%
売上総利益	15,416	41.9%	16,180	41.8%	763	105.0%
販売費及び一般管理費	9,281	25.2%	9,670	25.0%	388	104.2%
営業利益	6,135	16.7%	6,510	16.8%	374	106.1%
営業外損益	150		60		△90	
経常利益	6,285	17.1%	6,570	17.0%	284	104.5%
特別損益	0		-		△0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,370	11.9%	4,570	11.8%	199	104.6%
E P S	153.00円		188.40円			

主な増減科目	前年比
見本費	62
減価償却費	53
荷造運搬費	47
試験研究費	41
旅費交通費	34

- ・販売管理費：9,670百万円(388百万円)
 - ✓ 旅費交通費・見本費：活動量の増加
- ・設備投資：2,520百万円(内新工場追加：1,410百万円)



2022年10月17日(月)

第62期（2023年3月期） 第2四半期決算説明会

(2022年4月1日～2022年9月30日)

代表取締役社長
取締役

最高経営責任者（CEO）
管理本部長

保木 潤一
川久保 秀樹

HOGY MEDICAL Co., Ltd.



ご参考資料

各種キットの定義について



	プレミアムキット	ブリストーカーキット	タイベックキット (従来キット)
	新工場 (マルチ)		筑波、美浦
生産場所			
製品形状	手技に合わせて小分けの パッケージにマルチ包装		不織布で包み 滅菌バッグにて包装
安全性	自動化生産によるメリット (入れ間違い、異物混入大幅削減)		従来通り
基準	1症例に必要な材料の 80%以上	1症例に必要な材料の 80%~30%	使用材料の少ない症例 材料の30%未満